

# 生徒のチョコ寄付5742個

## 聖霊高生募る 施設にプレゼントへ

十四日



チロルチョコを赤い箱に入れて寄付する生徒たち。瀬戸市せいれい町の聖霊高で

四施設の男女二百四十六人に五個ずつ贈るため、千二百三十個のチョコを目標に掲げたが、初日から目標数を上回る数が寄せられた。最終的に五千七百四十二個が集まった。

のバレンタインデーを前に、瀬戸市せいれい町の聖霊高校で九日まで「二日の三日間、二年生たちが校内で「チロル

うコンセプトで、二年生のクラス代表が中心になって活動する「リーダー会議」が初めての企画した。

プロジェクト中心メンバーの中西更紗さん(せも)は「チロルチョコなら値段も安く、気軽に寄付してもらえると考えた」と説明。小松美月さん(せも)も「学年通信で呼び掛けるだけでなく、メンバーが直接各教室に説明して回った」と振り返った。

「チロル」の寄付を募った。集められたチョコは近く県内の児童養護施設へプレゼントする。

玄関でハート形にくりぬかれた赤い箱を持ち、高校と聖霊中の生徒たちに寄付を呼び掛けた。登校した生徒たちは、ミルクチョコやクッキー&クリーム、きな粉餅などさまざま

施設訪問時には、子どもたちと一緒に厚紙に絵を描くパズル作りや、手遊びをして触れ合う。学年代表の大島わかさん(せも)は「少しでも子どもたちの笑顔が増えてほしい」と話した。

「社会と聖霊との懸け橋になりたい」とい

箱に入れていった。

(堀井聡子)